

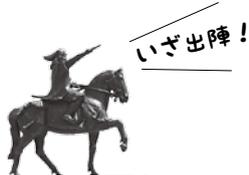
どげなかね

2016 **11** 月号



特集 **新しい 農業のカタチ**

新しい街を創る／水道料金改定のお知らせ
食育レシピ／キラリ光る☆地域 ほか



「月山再興」山頂部オープンイベント
**歴史アイドル小日向えりと
 月山富田城へ登ろう！**



歴史アイドル
小日向えり



歴史芸人
長谷川ヨシテル

昨年から進めている月山富田城の整備。山頂部の工事が終了し11月下旬から登城ができるようになります。昔の姿によみがえった月山富田城を記念したイベントを開催します。

- 期日 **11月27日(日)**
- 会場 講演会：広瀬中央交流センター
ウオーク：月山富田城跡周辺

【講演会】

- ・時間 10:00～12:15 (開場は9:30～)
- ・駐車場 臨時駐車場(広瀬小学校校庭)をご利用ください。

◎第一部

- ・ゲストが富田城や山中鹿介の魅力についてフリートーク。司会は、戦国魂プロジェクト鈴木智博さん。
- ・やすぎ・アート・アカデミーの演劇「月へのぼろぞ！」

◎第二部

ゲストや地元のパネラーによるパネルディスカッション
 テーマは「山城のある街づくり」ほか

※講演会終了後、参加者に軽食(無料)をお渡しします。

【オープニングウオーク】

講演会のゲストと一緒に富田城に登ります。山頂では、富田城の説明と記念撮影を行います。※少雨決行

- ・時間 13:40～15:30 (受け付けは13:30まで)
- ・集合場所 安来市立歴史資料館前
- ・駐車場 富田橋下駐車場

講演会、ウオークいずれも参加費無料です。ただし、事前申し込み(事務局の窓口または電話も可)が必要です。

【申込み・問い合わせ】

広瀬地域センター (電話 23-3201)

**スマホで
 広報やすぎ**

行政情報アプリ「i 広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル! アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。ダウンロードはこちらから。

問い合わせ 秘書課広報広聴係 電話 23-3010



どげなかわ

2016 11 月号

も く じ

- 2 月山富田城へ登ろう!
- 3 市政トピックス
- 4 **特集①**
新しい農業のカタチ
- 12 **特集②**
新しい街を創る II
- 14 水道料金改定のお知らせ
- 15 たうんとぴっくす
- 18 食育レシピ、数字で見るやすぎ
- 19 健康の窓「糖尿病」
- 20 加納美術館、日本遺産
- 21 図書館だより
- 22 「ジョーホーの森」各種お知らせ
- キラリ光る☆地域 (裏表紙)

別刷 市民カレンダー

11月の行事/日曜日・祝日診療など

今月の表紙

「西谷学習日のマラソン大会」

統合された旧西谷小学校には年6回、布部小学校の児童が登校してきます。この日は写生会の後、マラソン大会を開催。地区内に子どもたちの大きな歓声が響き渡ります。地元の人たちも沿道に出てきて拍手や声援を送ります。山間の里の秋の一コマです。

撮影日/9月23日 場所/広瀬町西谷



市政トピックス



緊急時の備えは 日ごろの訓練から

9月24日に広瀬町内の飯梨川河川敷で安来市総合防災訓練を開催しました。訓練は20以上の団体の協力を得て、救助・避難確認・救助物資の運搬・炊き出しなど、緊急時のそれぞれの場面を想定し、各団体の連携のもと繰り広げられました。

今回は初めて、避難所の開設・運営の訓練を実施。自主防災組織などの皆さんが参加した机上でのシミュレーション訓練を行いました。これはHUGと言われ、様々な場面や状況を記したカードを使い、避難所運営をゲーム形式で行うものです。

4月に発生した熊本地震でも避難所が開設され、運営の難しさが報道されました。速やかな立ち上げ、安定的な運営が重要視されています。



▲机上での訓練を行う参加者の皆さん。いろいろな場面を想定し、避難所運営の難しさを体験しています。



▲近藤市長の訪問を受ける小藤キクノさん（右）。

45人が白寿の祝い 市長がお宅訪問

敬老の日に合わせて、白寿（数え年で99歳）を迎える市民45人に記念品を贈呈しました。

この内、9月28日には、布部の小藤キクノさんのお宅を近藤市長が訪ね、お祝いの言葉と祝いの品を贈りました。

昔から造林業や農業などに従事し、大病もなく健康を維持してきた小藤さん。今の健康状態もよく、布団の出し入れや草取り、入浴などを一人で行います。

「長寿の秘けつは？」という質問には、「一日三食しっかりとおいしく食べることです」と答え、「同居する」娘とビールを分け合って飲むことが最高に幸せです」と笑顔で話していました。

楽しく学び、環境について考えよう

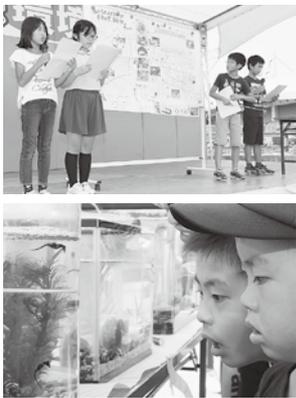
9月11日、「やすぎ環境フェア2016」を和鋼博物館前で開きました。この催しは地球温暖化をはじめとした環境問題への理解と関心を高めるため、毎年開催しているものです。

フェアには環境関連企業や近隣の行政機関など18の団体がブースを設け、地球温暖化・リサイクルなどへの取り組みや、中海・飯梨川の環境報告、環境に配慮した新製品の紹介など、多彩な展示が並びました。

また、太陽エネルギーで動くペンギン型プラモデルづくりや水道水のきき水クイズなど、体験をしながら学べるイベントが多く、子どもたちや親子連れの楽しむ姿が見られました。ステージでは、小学生が環境



にぎわった会場の様子



（上）発表する赤江小学校の児童。（下）中海に生息するタツノオトシゴなども展示されました。

学習の取り組みの成果を披露。赤江小4年生は飯梨川の環境について調べ、下流・中流・上流の生物調査や、流れる場所によって水質が違うことなどを発表しました。

同小4年福山朔太郎くんは、「飯梨川は昔から住民にとって大切な川だということがわかった。反面、ゴミが多かった。ポスターなどを作って呼び掛けた」と話していました。

フェアでは、ゴミ箱の設置をやめ、提供する飲食物にリユース食器を使用するなど極力ゴミが出ないよう配慮しました。来場者はイベントを通して、環境を守る大切さを学びました。



特集 新しい農業のカタチ

中山間地域で農地貸借事業

布部で企業が稲作事業に参入 地域農業の核に

9月15日、やまやまに囲まれる布部地区に稲刈機の音が響く。日焼けした男性が手際よく稲刈機を操り、残った稲をもう一人の男性が慣れた手つきで刈りとっていく。秋になると市内でよく見る光景ですが、働く男性らは農家ではなく、工業製品

を扱う小林電機の社員です。

**危機を感じた
ふるさとの未来**

紙切刃物製品や工業製品検査などを展開する小林電機が布部で稲作を始めたのは平成25年。高齢化や担い手不足に悩む、地域の危機を感じたからです。布

部の高齢化率（人口65歳以上の人の割合）は43・0%（平成28年10月1日現在）。息子が都会へ出てしまった世帯や、若い人が残っていても昼は働きに出してしまう世帯が多く、高齢者が農業の中心を担っています。また、近年の米価格の下落は、生産意欲を減退させており、布部在住の同社代表取締役・小林一夫さんは、ふるさとの未来が不透明であると感じました。「農

「農業の今」と聞いてどんなことをイメージするでしょうか。「高齢化が進み、担い手不足」そんなイメージを持つ人もいることでしょう。食料自給率は低下し、国内総生産（GDP）は全体の1%にも満たない。関税が撤廃されるTPP（環太平洋連携協定）の懸念もあります。
厳しい環境にさらされる農業ですが、この流れをとらえ、新たな動きをしている人たちがいます。それぞれの分野での新たな挑戦を紹介します。

株式会社小林電機
代表取締役
小林一夫さん





▲布部地区で農業機械を使って稲を刈り取る小林電機の社員。

地が荒れ、人々が地域を離れると地域に活力がなくなる。農地の保全、地域活性化のためふるさとの田を守らないといけない」と稲作への参入を決めました。

まず、社員から稲作に精通した3人を選び、農業部門を設立。次に農業委員を通して情報を集め、布部周辺で借り受けてきる農地を募りました。原則、

田は現状のまま管理し、機械が入れば小さな水田も引き受けます。布部や宇波を中心に約8ヘクタールの水田で稲作を始めました。

稲は生き物で、画一的な管理は難しく、各水田で細やかな神経を使います。水が不足すればコンテナで水を運び、台風が来れば、夜中でもかけつけ、手間

【農地中間管理事業】



貸したい人から農地を募り、「経営規模拡大をしたい」「農地をまとめたい」「新たに農業をしてみたい」など借り受けを希望する人をマッチングして、農地を貸し付ける事業です。詳しくはお問い合わせください。

- ▼公益財団法人しまね農業振興公社
Tel 0852-20-2871
- ・農地集積推進委員（安来担当）
Tel 080-2938-7480
- ▼農林振興課 Tel 23-3332

「単なる一時的な地域の救済で終わらず、永続的に事業を継続できる形にしなければならぬ」と小林さん。同社では、コスト削減を意識し、自社一貫で播種から販売まですべてを行います。販売するお米は、近距離なら精米、配達まですべて無料で行い、高齢者や女性には人気のサービスとなっています。また、農閑期には、農業部門の社員を工業製品部門に移せることも強みの一つです。

ひまかけて励みました。

当初、地元の人には「手間もお金もかかる農業を本当にやってくれるのか」と、半信半疑だったといいます。年を重ねるごとに、見る目が変わり、田を預かって欲しいという農家が増え、地域からの信頼も増えています。

中山間地域で永続的に続けるために



▲稲作を担当する社員。チームワークは抜群です。

今後も布部や宇波で耕作が困難になった人などの水田を引き受け、中山間地域での稲作事業を拡大していく予定です。

「山間部の布部では大規模な農業はできないが、寒暖の差があり、お米のおいしい地域。長所を強みとしたい」と小林さん。企業が中山間地域の農業の担い手となり、地域を守る礎の一つとなっています。

【島根型6次産業推進事業】

地域資源を活用した6次産業・農商工連携のビジネス展開を支援。通称「新しまろく事業」。

●助成内容

加工、流通、行政等の多様なネットワークによる新商品の開発、市場調査、研修会、販路開拓等に要する経費に対して支援。

▼農林振興課

Tel 23-3333

【やすぎ夢追人支援事業】

新商品開発や販路拡大、ブランド化などを総合的に支援。

▼商工観光課

Tel 23-3344



▲まいもん工房の代表・中村一人さん
 ▲製造・販売をする「まるでパスタな米粉麺」。

※6次産業化・・・生産（1次）を行う農林業者が、加工（2次）、販売（3次）までを行うこと。



地域資源の6次産業化
 生産から販売まで
 関わることで良い商品に

東比田で農業を営む中村一人さん。「昔から自然に囲まれた暮らしがしたかったんです」と、平成10年に愛知県から安来市へ1ターンの移住しました。有機農業にこだわり、トマトや水稲などを育てています。比田に根を下ろし17年、今ではすっかり地元の名産の一人です。

野菜を練り込んだ6種類の米粉の麺

その中村さんが代表を務める「まいもん工房」（東比田）では、6年前から米粉を100%使ったマカロニを製造・販売しています。米粉はすべて中村さんが生産した比田産きぬむすめで、もちもちとした食感と、トマトやカボチャなど6種類の野菜パウダーを練り込んだカラフルな色彩で、ファンを増やしています。

「米の需要は年々減少し、コメ離れが進んでいます。米はパンや麺に加工できる小麦に比べて、バラエティーが少ないと思いい、米粉を思いつきました」。米を使った麺は生地が伸びにくくちぎれやすい。水の微妙な

配合を何度も重ね、半年間をかけて開発しました。米粉は小麦やそばと違いアレルギー者が少ないのも強みです。生産は注文に応じ、定期的に行い、地元から一人を雇用しています。

素材を知る生産者だからこそ

「単純な価格競争だと大手企業に勝てない。生産から携わり商品を知り抜く生産者だからこそ、こだわった商品ができる」と自信をのぞかせる中村さん。商品は、グリーンセンターや道の駅あらエッサなどで販売し、給食にも使われています。

課題は生産。これまではマカロニの水分を飛ばす乾燥機の容量が少なく、大口の注文に 대응することができませんでした。今年には乾燥機をもう一台購入。増産態勢を整え、商談会や地元イベントなどに積極的に出店し販売増を狙っています。

「イベントなどで直接意見をいただくと、やりがいになる」と中村さん。生産のみならず、販売までを生産者が関わることで、よりよい商品に結びついています。

新たなビジネススタイルに進出

狭く高いところもおまかせ！

樹上の軽業師ランバージャック

樹木伐採や枝の剪定などを請け負う、しまね東部森林組合が新たな技術を導入しました。その技術は「ツリー クライミング」。専用のロープやハーネス、カラビナなど安全保護具を利用して木に登り、樹上から伐採や剪定を行う技術です。導入により困難な環境下での作業が可能になりました。森林組合では、特殊技術を操り樹木の伐採を行うチームを「しまねランバージャック」と呼んでいます。

樹上、地上から声を掛け合い 抜群のチームワーク

10月8日、ランバージャックの4人が出動です。伐採樹木は安田地区で大きく枝を広げた高さ10mほどのモッコク。樹齢60年を超える大木です。一見する

と障害物がないような場所ですが、樹下には祠と鳥居が建っています。また、水田に囲まれ、切り取った枝や幹は樹下西側の限られた狭いスペースに落とさなくてはなりません。

作業が始まると、クライマーと呼ばれる人が、軽々と木に登り、チェーンソーで枝や幹を次々と切り落として行きます。安全は二本のロープでしっかりと確保。切った枝は手でガイドしながら落としますが、コントロールできない部分はロープをかけて伐採します。ロープは、地上のグラウンドマンと呼ばれる3人が操り、力を加え、狭いスペースに巧みに落としていきます。さらに困難な場所では、切った部分を宙づりにして降下

させることもあるそうです。常に声を掛け合って作業を進め、樹木の上から順に処理して、わずか4時間程で完了しました。クライマーを担当した恩田貴裕さんは、「この技術により樹上で安全に作業が可能になり、今まで困難だった場所でも作業もできる。新たな収益の一つになれば」と話していました。今後のさらなる活躍が期待されます。



しまねランバージャック SHIMANE LUMBER JACK

しまね東部森林組合が誇る樹木伐採のプロ集団「しまねランバージャック」。ランバージャックは「きこり」という意味です。

彼らはツリークライミングなどの特殊な技術を用い、樹上での伐採を行います。木に登り直接、木を見ることで傷みや腐れといった状況を正確に把握します。

樹木伐採でなによりも重要なのはチームワーク。声を掛け合い、地上からも頻繁に確認することが、安全で正確な作業を可能にしています。

▼しまね東部森林組合
TEL 32・2680

やさぎ農業サポート制度

人手が足りない「農家さん」と

農業に関わりたい「サポーター」の縁結び

3年前からUターンでイチゴ栽培を始めた田中徳治さんの農園。13アールあるハウスの中には、「紅ほっぺ」の苗の定植作業（苗植え）の真っ最中です。作業の休憩時間には、農業サポーターの皆さんから作業手順や栽培方法についての質問が飛び交います。

農業サポーターとは農家の人手が必要な時に、その作業を手伝う人のこと。ただし、その作業について事前に講習を受け、登録されている人が派遣されます。苗植えや収穫期など、農家の繁忙期の負担を軽減し、安定した栽培・出荷を目指して、JASしまねやさぎ地区本部・安来

市・島根県が平成27年4月から制度化を図っています。
農家から要望を受け、サポーターをあつせん
 「農業サポートセンター」では、サポーターの募集をはじめ、葉物や花卉、イチゴなどの農家の必要とする作業の知識や実技などの講習を定期的に行い、一定以上の技術を持った人を、農家の依頼に応じて派遣します。もちろん有償なので双方にメリットがあります。

イチゴ農家の田中さんは「手伝ってもらえる人を直接、探すとなると手間がかかるし、作業内容を知っていないので続かない人が多いです。その点、このサポーターは実技講習があり、現場でどんな作業をするのか、十分理解した上で来てもらえるので安心です。目的意識がはっきりしている方を派遣してもらえるので助かっています」と話します。

田中さんは、就農時からサポーターを頼んでいるとのこと。「イチゴ栽培では、定植・マルチ掛け・収穫の時期に、人

▲イチゴ農家の田中さん（右から3番目）とサポーターの皆さん。この日は、紅ほっぺの苗の定植作業を行いました。

手が必要です。サポーターがいなければ、今の面積での栽培は難しかったです」と、この制度に期待を込めます。
現在37人が登録
やさぎ農業サポートセンター
 平成28年の4月以降（9月末現在）は、述べ33件のサポーターを農家に派遣しています。
 「ゆくゆくは自家用のおいしいイチゴを作りたい。その勉強と、農家さんのお手伝いを兼ねて登録しています」と話すのは、2回目の派遣という入江雅子さん。「何もないところから農作物を作り上げていくという農業のすごさを感じています。今回植えた苗が実って、収穫時にまたお手伝いできるのを楽しみにしています」と、サポーター制度の魅力を楽しそうに語りま

す。
 高齢化や担い手不足を解消する新たな制度。農家さんの期待は大きいものがあります。



就農・定住パッケージ事業

師弟制度、そして地域が応援 就農はパッケージでバツクアップ

「農業がやりたくて安来に来ました。上廻さんからは、生活が成り立つ農業が第一と言われていきます」と話すのは2年前に広瀬町比田にUターンし、農業を目指す盛岡渉さん。現在、農業の師匠である上廻達矢さんの農園で3年間の研修中です。

市では、新規に就農する人に対して支援のパッケージ化を図って支援しています。指導農業者を紹介する師弟制度、受け入れ可能な地域のおっせん、農地・施設の資金助成などの複合的なメニューです。この制度を活用している一人が盛岡さんです。

「地元ルールなども聞くことができるので、農業に専念することができます」と、この師弟制度に引かれてUターン先の町を選んだといいます。

一方、師匠である上廻さん自身もUターンで農業を志した人。その経験を活かし、盛岡さんには「地域へ出なさいと伝えていきます。行事やまちづくりに参加することは未来の農業にもつながってきますから」と自らの経験を話します。

また、「今はいちばんチャンスの時です。研修中まだまだ、営農していません。時間がたつとあるの、彼には自分が興味を持ったことに何でも挑戦してほしいですね」と栽培の技術面以外にもアドバイスを贈ります。

「将来は比田の特産品づくりに取り組みたい」と夢を語る盛岡さん。間もなく二人目のお子さんが誕生します。



▲盛岡渉さん(右)と師匠の上廻達矢さん。「2年目になり一定の作業は任せてもらっています。作業の合間には、経営や流通のことも教えてもらっています」と盛岡さん。

また、「今はいちばんチャンスの時です。研修中まだまだ、営農していません。時間がたつとあるの、彼には自分が興味を持ったことに何でも挑戦してほしいですね」と栽培の技術面以外にもアドバイスを贈ります。

【就農定住パッケージ事業】

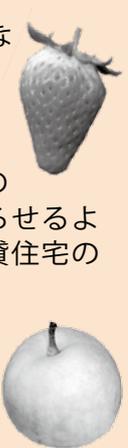
Uターンで新たに就農を目指す人には、市・J A・県が連携して総合的なサポートに取り組んでいます。

- ・農業の経営者として幅広い能力を習得するための充実した研修制度
- ・指導農業士の下で、マンツーマンの研修を通じた強い師弟関係づくり
- ・就農者の受入に積極的で農地の確保などが可能な地域への橋渡し
- ・助成・制度資金を活用した施設整備など

また、平成28年度からは子育て世代の新規就農者などが、家族で安心して暮らせるよう、Uターンの新規就農者向けの賃貸住宅の整備制度も新たに創設しています。

※制度にはそれぞれ要件があります。詳しくは問い合わせください。

▼安来地域担い手育成総合支援協議会(農林振興課内) Tel 23-3330



基礎研修(座学)の様子。研修では、梨の袋掛け・トルコギキョウの出荷調整・肥料農業の基礎知識など様々なカリキュラムを行っています。

【やすぎ農業サポートセンター】

同センターでは随時、講習会を開催し、サポートセンターを養成しています。事務局には職員2名が常駐し、農家や農業サポートに興味のある人からの問い合わせなどに対応しています。このセンターは、仲介手数料等を取らない「無料職業紹介所」として厚生労働大臣の認可を受けています。

▼やすぎ農業サポートセンター(J Aしまねやすぎ地区本部担い手支援センター内)

Tel 23-0255 (平日8:30~17:00/土日祝休)

穂日島町303





農業は、地域に住んでいる人たちが 育てていく意識が大切です



島根県東部農林
振興センター 所長
持田守夫さん

市内の平たん部では次々と大区画ほ場整備が進み、その地域の担い手として集落営農組織の設立・法人化が進んでいます。

一方の中山間地域では、比田地区のように産業から地域振興まで一体となった取り組みが始まろうとしています。県内でも初めてと言ってよい事例です。安来市の取り組みは、他市町の参考となるものではないでしょうか。

もう一つ特徴的なことは、新規就農の支援制度が充実していることです。他市では個別の支援はありますが、パッケージで取り組んでいる事例はありません。平成25年からは毎年、2名ずつの認定新規就農者(※)が誕生しています。農業人口全体の減少はカバーできないかもしれませんが、やる気のある方を

しっかりと確保している。このことは、定住対策としても非常に有効な取り組みだと思っています。

消費者の皆様にお願ひしたいのは、地元産の農畜産物を食べて地域の農業を応援していただきたいということ。同じものであれば地元産を買っていただく。子どもたちには給食等を通じて地元産に親しんでもらい、将来の農業の応援団になってもらいたいですね。

また、地域の農業はそこに住んでいる人たちが育てていくという意識が大切です。集落営農では地域全体の中で話し合い方向性を出していくこと、UITAの就農者は地域で支え、育てていくことが必要です。これからも安来市の様々な取り組みに期待しています。

※青年等就農計画の認定を受けた新規就農者。

未来へ
つなぐため
新しいカタチが
育まれていく



安来は農地面積、県内第2位の農業王国 営農形態も徐々に変化が表れています

島根県が公表している2015年農林業センサス（速報値）をひもとくと、安来の農業の今が見えてきます。

安来市は県内でも屈指の農業が盛んな地域です。経営耕地の総面積3035haは、出雲市に次いで県内第2位で、農家や農事組合など2222の経営体が市内で農業に従事しています。

その内、約半数以上の1245の経営体は、販売金額が50万円未満の小規模な経営体が占めます。

農業に60日以上従事する農家数は、10年間で2985戸（平成17年）から2182戸（平成27年）と800戸以上も減って

います。

市内の年齢別農業従事者の割合を見ると、65歳以上の人が約75%を占め、高齢者に頼っている現状が顕著となっています。この状態が続けばいずれは立ち行かなくなり、農業の維持・発展が困難となります。

一方で、市内の農事組合法人（平成17年3組織↓平成27年6組織）、会社（平成17年度2社↓平成27年度8社）などの経営体が増加、また、一経営体が経営する平均経営面積も増え、新たな産業として参入、規模拡大をする傾向が表れています。市の研修制度を受けて新規に就農する人は、5年間で13人を数えます。

私たちが生きていくのに必要な食料を生産する農業。平野から山間部まで、どこでも水田や畑、ビニールハウスを見かけます。安来では農業が不可欠な産業で、農業の衰退は、そのまま地域の衰退にもつながります。

農業は単に食料を提供するだけではありません。水田は雨水を貯留し災害を未然に防ぎ、豊かな生態系も育んでいます。また、美しい農村の風景は、私たちの心を和ませてくれます。

就農者の高齢化、担い手不足など、取り巻く環境は依然厳しいですが、現状を認識し、打破するため、多くの人が未来に向けて動き出しています。農業に携わっている人、そうではない人も垣根を越えて、「新たな農業のカタチ」を模索し始めています。

富田城跡整備事業の第一期工事が終わり、11月中には月山山頂に登城できます

現在進めている月山富田城整備・総合文化ホール建設・新庁舎建設事業は順調に工事が進んでいます。定期的に事業の様子をお伝えしているこの特集では、現在の様子や今後の予定などをお知らせします。

史跡富田城跡整備事業

間もなく登城が可能に富田城跡整備事業

昨年末から山頂部分と七曲り部分の木々の伐採等を進めてきた第一期工事は、間もなく完了します。予定では11月下旬から、皆さんにも山頂に立つて古

の眺めを楽しんでいただくことができます。

これまで木々に埋もれて確認が難しかった三の丸から本丸にかけての防御施設の様子がよく分かります。西に突き出したように築かれた「西袖ヶ平」、七

曲り付近に設けられた曲輪群など、難攻の城の一端を垣間見ることがができます。今回の整備事業によって、戦うために築城された富田城を体感することができます。(登城可能な時期は、行政告知端末等でお知らせします)

第二期工事は千畳平、馬乗馬場付近を整備します

引き続き進める第二期工事は、麓部分の曲輪の整備に着手します。千畳平の大石垣周辺では石垣の補修や木の伐採を、また、「馬乗馬場」では曲輪の様子が分かるように整備していきます。

このため、時期によっては工事車両の進入の必要があり、千畳平、太鼓壇の立ち入りを部分的に禁止する場合があります。安全を確保して作業を進めていきます。



▲ 2期工事の範囲。木々の伐採や石垣の補修など、千畳平、馬乗馬場付近を整備します。

山頂の木々が伐採され、月山の様子が刻々と変化してきたのを毎日、見ながら当時の山城はこういう姿だったんだという思いを巡らせていました。七曲りも露わになり、険しい斜面であることがよくわかります。実際に登ってみれば、難攻不落の山城であることをより一層、体験することができますね。

今後は、見晴らしの良い山頂に立つことができるというPRをするとともに、案内板や休憩所などの受け入れ体制を整備していく必要があると思います。



月山富田城整備を支援する会代表 平原金造さん



4階までの鉄骨が組み終わり
30m弱の高さになりました

開館まで一年となった総合文化ホール「アルテピア」。建物全体を工食用足場が覆い、その大きさをうかがい知ることができません。

「現在の躯体くたい（建物の骨組み）工事は7割の進捗状況です。一階部分の仕上げ工事にも着手しています」と話すのは、工事現場代理人の池上信太郎さん（鴻池・平井建設特別共同企業体）。



新市庁舎建設事業

建設現場は身近な教材

十神小学校の3年生54人が9月26日、建設中の新安来庁舎を見学しました。社会科の授業の一環として訪れたもので、現場の担当者から工事概要の説明を受けた後、ヘルメットを着用して、槌音が響く建設現場の1階部分に入りました。

渡部紗菜さなさんは「少し怖かったけど、工事中の建物に入ることができてよかったです。登下校中にいつも見ていたので、気になっていました。完成したらまた、見に来たい」と話してくれました。

「年内には建物全体に屋根がかかるようになると思います」。

建築工事全体では9月末現在、43%の工程が完了し、順調に工事が進んでいます。大型クレーンによって大ホールの真上になる4階部分の鉄骨も組まれ、完成時の高さ29・9mの姿を遠くからでも見るようになります。

「アルテピア」は山陰自動車道沿いに建つので、高速を走行中に現場を見るとその大きさが

よく分かります。完成後もこの立地が、松江市や米子市などからのアクセスの良さにつながります。安来ICからは、側道を使って約5分で到着することができます。

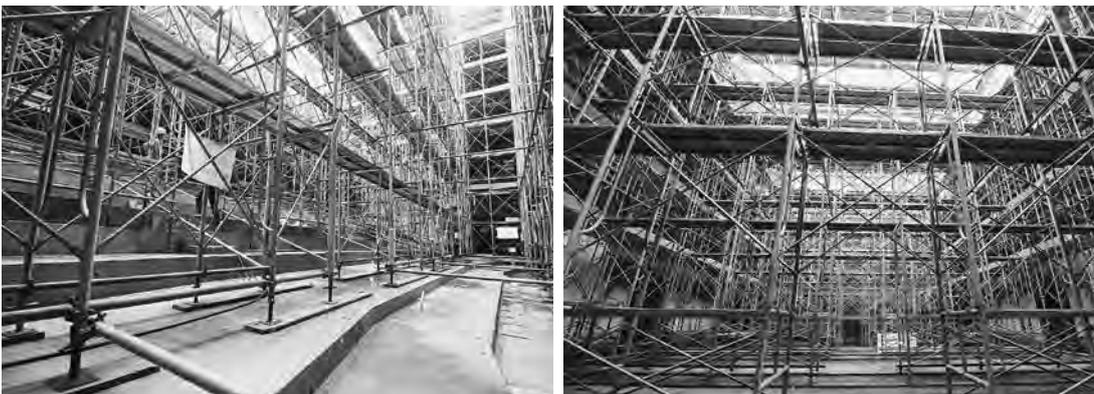
ホールは大小2つ
用途によって使い分けます

「アルテピア」には1008人収容の大ホールと、300人収容の小ホールがあります。現在は大ホール内に全体に足場が組み、全体を見渡すことができます。それでも大ホールでは、階段状の客席部分を確認することができません。さらにこの上には、2階客席もつくられることになり、旧市民会館とは違い、舞台からの距離が近くなるので、2階席でも視界が十分に確保されたホールになります。

一方、小ホールは多目的に使えるよう床面は平らで、客席も可動式になります。小学校のプール程度の広さとなる空間は、使い勝手がよさそうです。観客との距離も近いので、アイデア次第でいろいろな催しができます。

開館まで約一年となった総合文化ホール「アルテピア」は、準備が着々と進んでいます。

(左) 大ホールの様子。収容最大人員は1,008人。1・2階に客席を分け、舞台までの距離をできるだけ縮めた設計です。
(右) 小ホールの様子。客席は可動式で床は平ら。パーティーや社交ダンスなどにも使える多目的なホールです。





3年間で段階的に水道料金を引き上げます 施設の更新に取り組み、安全・安心な水道水を届けます

水道料金改定①

問い合わせ
水道管理課
電話 23-3400

市は、水道事業の健全な経営と

安全・安心な水道水を届けるため、来年度から3年間をかけて段階的に水道料金を引き上げます。新料金は、平成29年4月1日から適用になります。

この料金改定の概要について、広報紙で3回にわたってお知らせします。

水道事業を取り巻く状況が大きく変化しました

現行の料金は、合併前の平成9年に改正された旧安来市に統一されています。これにより広瀬・伯太は886円程度の値下げとなっています。その後は、職員削減など経費削減に努め、料金改定をしていません。しかし、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。施設

の老朽化、人口減少・節水機器の普及などによる収入減、国の制度改革などにより、大きな財源不足に陥ると見込まれます。

改定後は県内8市の平均的な料金になります

将来にわたり安定した事業運営を続けるためには、料金の改定が避けられない状況です。このため、20年ぶりに料金の引き上げを行うことにしました。

1カ月あたりの水道基本料金表

口径	旧料金	新料金		
	~平成29年 3月31日	平成29年 4月1日~	平成30年 4月1日~	平成31年 4月1日~
13mm	1,000	1,100	1,200	1,250
20mm	1,350	1,380	1,490	1,550
25mm	2,200	1,650	1,800	1,900
30mm	3,150	2,150	2,300	2,400
40mm	6,750	2,850	3,000	3,100
50mm	10,000	5,400	5,700	5,950
75mm	25,000	10,650	11,250	11,800
100mm	42,500	24,750	24,850	24,900

※実際の支払いは2ヵ月分ごとになります。単位は円・税別。

1カ月あたりの水道従量料金表

使用水量 m ³	旧料金	新料金		
	1 m ³ につき ~平成29年 3月31日	平成29年 4月1日~	平成30年 4月1日~	平成31年 4月1日~
~8	0	0	0	0
9~11		136	144	156
12~15	122	141	149	162
16~20	127	144	153	166
21~30		161	171	185
31~40	145	173	183	198
41~50		181	191	207
51~100	162	185	196	212
101~500	167	190	201	218
501~	171	194	206	223

※実際の支払いは2ヵ月分ごとになります。単位は円・税別。

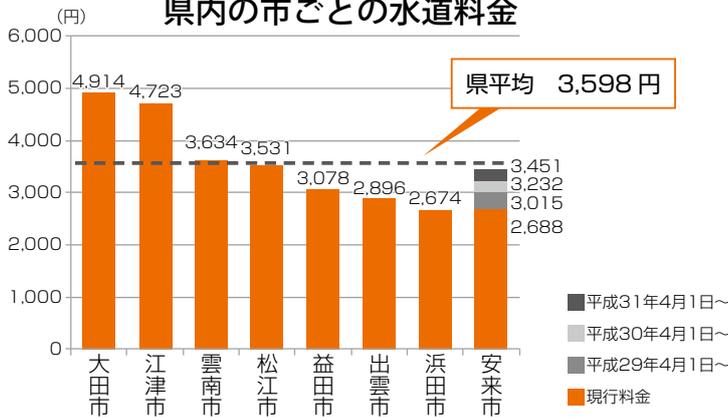
※口径による従量料金の差はありません。

今後の水道事業のあり方を検討するため、平成27年12月に「安来市水道事業運営審議会」（委員11人）を設置し4回にわたり審議してきました。この審議会答申（30%程度の引き上げ）をもとに、市民の皆さんの負担が最小限となるよう23・7%の引き上げをすることにいたしました。

引き上げ後、平均的なご家庭の水道料金は、県内市町村の平均額を少し下回る額となります。（下表）

一方、引き上げの影響を分散するため、3年かけて料金を、三分の一ずつ段階

県内の市ごとの水道料金



的に引き上げる激変緩和措置や、低所得者層を対象にした新たな減免制度を導入します。（詳しくは次号以降の広報紙でお知らせします）

引き続き安全・安心で、おいしい水を皆さんにお届けするため、さらなるコスト削減と経営の効率化に努めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

たんぽぽ



身近なまちの話題や出来事を紹介します

ゲームで楽しむ防災訓練



◀家具転倒防止シミュレーション。
▼ジャッキを使った救助訓練。



10月2日、十神地区防災フェスティバルが同交流センターで開催されました。主催する同地区自主防災委員会は数年前から地区文化祭に合わせて開催し、地域への防災意識向上を図っています。今年は子どもを対象に楽しんで学べる体験型訓練を取り入れました。参加した子どもたちは、毛布で担架を作ったり、道具カードでの災害時のクイズに挑戦したりするなど4つの訓練を体験しました。

十神小4年澤井優奈さんは「楽しかった。災害になれば習ったことを実践したい」と話しました。

総合文化ホール開館前の機運を盛り上げようと企画されたコンサートの出演者が10月6日、赤屋小学校を訪れ「おんかつ」を行いました。この事業は、アーティストが学校などに出かけ、生の音楽を通して地域交流を図るものです。バリトン歌手のヴィタリ・ユシュマノフさんとピアノ奏者の山田剛史さんが、全校児童を前に迫力ある歌を披露。用意された世界地図で場所を紹介してもらいながら世界中の歌を聞き入りました。

6年生の増田麻希さんは「歌だけで感情を表現することができるなんてすごい」と感動した様子で感想を話してくれました。

赤屋小に世界の歌が響く

▶ ヴィタリさんからラップを貼った碗から使った声の振動を教えるという体験。



▲来場者は、試食をしながらお気に入りの逸品を買って帰っていました。

安来港に山陰のいいものが集合

地元のおきのおきの逸品を、地元はもとより県外にも紹介しようと「山陰いいものマルシェ」が9月25日、安来市内で開催されました。中海・宍道湖・大山圏域をはじめ山陰両県から58店舗が出店。心地よい海風が吹く安来港を舞台に多くの人で賑わいました。

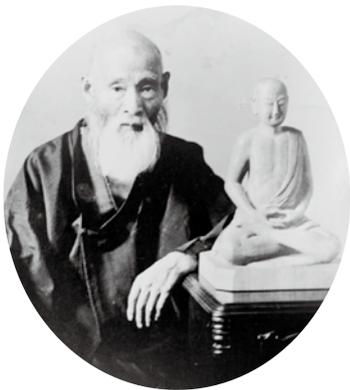
安来市からは13店舗が参加。お客さんとの対話を中心とした販売スタイルで、商品の由来やストーリーなどを積極的に売り込んでいました。また、会場には県内外のスーパーや卸業者などのバイヤーを招き、地元産品の販路拡大を目指しました。



▶井尻八幡宮で作品を観賞する参加者。イベントは10月23日に日野町、11月13日米子市でも開催されます。



山陰のダ・ヴィンチ 「富次精齋」の足跡巡る



富次精齋 (1856~1943)

井尻出身で明治から昭和初期にかけて活躍した宮大工・富次精齋の足跡を巡るイベントが、9月18日に井尻地区で行われました。このイベントは生誕160年を記念して企画され、生誕地の安来市、ゆかりのある日野町・米子市の3地区で作品などを見てまわります。

1856年に井尻で生まれた富次精齋は、高村光雲に師事し、宮大工として山陰を中心に活躍。根雨神社や勝田神社などの寺社建築設計や、荒島の広田亀治像などのすぐれた彫刻を多く残しました。また、製粉機の元祖となった「煙草製造機」や「風車式稲粃機」などの発明も手掛けています。

全3回の内第1回は、井尻八幡宮や井尻天満宮などに初期の作品が残る井尻地区を散策。参加者らは、地区内を歩き、立体的で精緻を極めた精齋作品を熱心に見入っていました。

国際線ファーストクラスの機肉食に 西谷産きぬむすめを提供中



▲全日本空輸株式会社ホームページより
トップページ <http://www.ana.co.jp/>
Tastes of JAPAN <https://www.ana.co.jp/tastesofjapan/>

米子鬼太郎空港に就航している全日本空輸(ANA)では現在、島根県内の「食」や「カルチャー」を取り上げた「Tastes of JAPAN by ANA」を展開しています。各地の魅力を全国、また海外の利用者に紹介することで、訪日旅客の増加及び地域活性化に貢献することが目的。期間中は、機内やラウンジサービスなどで島根県産品が取り入れられています。

現在、欧米線などの国際線ファーストクラスの機肉食に「安来西谷産きぬむすめ(金芽米)」を提供中。サイトでは「絹のような白さと、甘みがあり艶があるのが特徴です」と紹介され、11月までの3カ月間使用されます。

羽田・成田空港の国際線ラウンジでは、清水羊羹と安来の地酒も期間限定で提供。また、1月までは、国際線全便と国内線奇数便の機内上映番組で、島根の紹介映像が放映される予定です。この動画には、安来節も登場します。

NPO法人やボランティア団体の取り組みを紹介

市内のNPO法人やボランティア団体の活動内容を知ってもらおうと9月18日、広瀬中央交流センターで「第6回ボランティアフェスタ・つな



- ▲10月3日には、板持会長（右）が日赤鳥根県支部澤田部長に収益金を渡しました。
- ◀この日のバザーの収益金は総額37,500円になりました。

がろう！ in 広瀬」が開催されました。やすぎボランティア団体ネットワークが主催しているもので、今回初めて広瀬地区が会場となりました。

会場では各団体の活動内容の紹介のほか、個人や団体からの提供品を格安で販売するチャリティーバザーも企画され、多くの人買い求めていました。収益金は日本赤十字社を通じて、今年4月に発生した熊本地震の被災地に送られます。

同ネットワーク代表の板持潤一さんは「市民の皆さんには、活動内容を知ってもらうだけでなく各団体の取り組みを活用してもらえるように促したいです。それぞれにまちづくりや環境保全、子育て、福祉などの得意分野があります。皆さんの役に立つことが、各団体の励みにもなります」と話していました。

尾道松江線の開通などにより、広域的な観光ルートづくりを目指している安来市と奥出雲町は、連携した観光地づくりのための研修会を和鋼博物館で開きました。

研修会は、今春認定された日本遺産がテーマで、日本遺産の選定委員をされている日本観光振興協会の丁野朗常務理事が、認定後の活用について講演しました。同氏は他の日本遺産の先進的な取組事例や国の観光政策などを紹介。そして、「この地方には“たたら”に関する魅力的な歴史や文化がある」として、「その地域資源をつなぎ、できるだけ多くの観光ストーリーを提供することが大切だ」と話しました。参加者らはメモを取りながら真剣なまなざしで聞き入っていました。

奥出雲町と連携し、たたらを活用



▲観光施設、観光関係者、商工会議所、商工会、議員など両市町から約70人が参加しました。

観光客に安来の魅力を紹介



◀特産の二十世紀梨を買い求める来場者

安来市内には豊かな食や温泉があります。

年間60万人以上の観光客が訪れるさぎの湯温泉地区で9月22日、さぎの湯温泉産直市「田舎のお福分け」が開催されました。会場にはフルーツや加工品などを販売する11業者の出店や温泉入浴券の配布などがあり、知られざる安来の魅力が紹介されました。

市内をはじめ、宿泊者や足立美術館などを訪れた観光客が立ち寄り、田舎ならではの産品を買い求めていました。

主催したさぎの湯温泉の若手グループ「根っここの会」代表の小幡浩三さんは、「市内有数の観光地であるこの場所から、市内の物産や他の観光地の情報を引き続き発信していきたい」と話していました。



豚ロース肉の わかめ野菜巻き (210Kcal, 塩分1.2g)



(作り方)

① 人参は斜め薄切りにしてから、重ねてせん切りにする。アスパラガスは、長めの斜め薄切りにして、さっとゆでる。わかめは洗ってから水に2～3分つけてもどし、水気をしぼる。

② 豚肉は、脂身を外側にし、ずらして重ねる。①を4等分にわけて置き、手前からくるくると巻く。同様に3本作り、小麦粉をまぶす。

③ フライパンに油を熱し、②の巻き終わりを下にして並べ、ふたをして弱めの中火で3分ほど焼く。ふたをとって中火にし、ときどきころがしてキッチンペーパーで脂をふきとりながら焼く。

④ ③にaを加えて全体にからめ、火を消す。食べやすく切り分けて器に盛り、bを添えてできあがり。

(材料)	(4人分)
豚ロース薄切り	240g
人参	60g
アスパラガス	80g
塩蔵わかめ	20g
小麦粉	適宜
サラダ油	小さじ2
a…(しょうゆ)	大さじ1と1/2
(酒)	大さじ1と1/2
(みりん)	大さじ1と1/2
b…(ミニトマト)	8個
(からし)	適量

数字でみる 安来市 for kids

こんげつ すうじ
今月の数字は 「10」 だよ



全国に道の駅は1,000カ所以上あります。この中で、安来市にある「道の駅」あらエッサが第10位に選ばれました。

世界最大の利用者がある口コミサイト「トリップアドバイザー」が選ぶ「行ってよかった!道の駅ランキング2016」で、発表されたものです。

▶ 駅長の原田さんは、10位の記念に贈った。持った。



全国で10位、島根県内では1位の評価です。

口コミサイトとは、実際に利用した人の感想や評価を、誰でも見ることができるインターネット上のサービスです。ほかの人の感想を参考にしようとして世界中の多くの人々が、このサービスを利用しています。

「あらエッサ」は、近くの人はもちろん観光客にも高く評価されています。地元で採れた新鮮な野菜や魚介類があり、そばやどじょうなど島根らしい食事ができることが、人気の秘密です。

道の駅あらエッサの原田茂駅長は「年間約70回もの楽しいイベントを開催したり、近くの観光地への地図を手づくりするなど、お客さんに喜んでもらえるようスタッフみんなで工夫しています」と話しています。(商工観光課)



11月14日は世界糖尿病予防デー 糖尿病

■問い合わせ…いきいき健康課Tel 23-3220

糖尿病は食生活などの生活習慣により誰もがかかりうる病気です。食の欧米化、慢性的な運動不足などが原因で糖尿病の人は年々増加しています。

血糖値

身体を動かすエネルギーとなるブドウ糖は、主に炭水化物や果物類からつくられ、血液に乗って全身の細胞に運ばれます。そのとき、血液中に含まれるブドウ糖の量を血糖値という値で表し、濃度が高い状態が続くことを糖尿病といいます。

糖尿病の症状

糖尿病は早期治療が大切です。次の症状があるときは、早めに医療機関を受診しましょう。

- のどが渇いて水をたくさん飲む
- 食べても食べてもお腹がすく
- 尿量が多い
- ひどく疲れる
- 食べているのにやせる

こわい合併症

糖尿病でこわいのは、糖尿病が誘発する合併症です。手足のしびれ、目の病気、腎臓の病気は、糖尿病特有の合併症です。糖尿病を放置していると合併症を引き起こし、失明や臓器の障害などにつながります。

糖尿病になりやすい要因

- 糖尿病の家族がいる
- 食べ過ぎ、飲み過ぎ
- 太りすぎ
- 運動不足
- ストレス
- 巨大児の出産歴がある
- 妊娠中の高血糖
- 高血圧
- メタボリックシンドロームとその予備群



糖尿病の予防



野菜を中心とした食生活と日常的な運動が重要です。過食や脂肪の摂り過ぎを控え、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。また、自覚症状が出にくいので、毎年健診を受け、自分の血糖値を知ることでも予防や重症化防止につながります。

11月19日に「世界糖尿病デー 安来市ブルーライトアップイベント」を開催します。詳しくは30ページをご覧ください。



いきいき健康課
保健師 田部富美江

糖尿病治療の心強い味方 安来市はくちょうの会

市内では、糖尿病の患者さんやその家族をはじめ、糖尿病に関心のある人、メタボリックシンドロームの人などが中心となって、はくちょうの会が組織されています。会では、糖尿病や生活習慣病に関する勉強会、食事療法に基づく料理教室、情報交換会、親睦旅行などを行い、病気の理解に努め、仲間とともに治療や予防にあたっています。

安来、赤江、荒島、島田、能義、宇賀荘、大塚、吉田、広瀬、伯太などにはくちょうの会の地域組織があります。地区単位での組織は珍しく、安来は糖尿病予防に積極的な地域です。※入会希望者はいきいき健康課まで。



今回は「出雲國たたら風土記」の核となる、鉄づくりの舞台を取り上げます。ここ出雲地方には世界で唯一、たたら姿が伝わっています。

世界で唯一現存 菅谷たたら山内

山内とは、たたら操業を行っていた製鉄施設と職人の住居を指します。菅谷たたら山内は、吉田町の田部家が江戸から大正時代まで、実際に鉄をつくっていた場所です。

また、操業当時の姿が世界で唯一現存し、映画「もののけ姫」のヘタ、

日本遺産 「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語

連載その2 **たたら今昔**

たたら場のモチーフとなったことでも知られています。

「本物」だけが持つ独特の空間



(左) 日本刀の原材料となる玉鋼。(下) 谷たたら山内。いちばん奥が高殿。



と周囲の景観は、訪れる者を圧倒します。たたら製鉄に従事した職人やその家族たちの生活や息遣いを、時空を飛び越えて体感することができる貴重な場所です。(国指定重要有形民俗文化財、雲南市吉田町)

世界に誇る日本の技術 玉鋼製造(たたら吹き) 伝承

1300年以上にわたり連続と継承されてきた世界で唯一の製鉄法「たたら吹き」。今もなお、奥出雲町で操業されるたたら吹きは、日本刀の原材料である「玉鋼」を生産するとともに、た

たらの技を伝え、後継者を育成しています。

炎が燃え上がる様子は、たたら神様「金屋子神」の存在を感じさせる神秘性があります。また、職人の作業は今日の先端技術でも説明できないほど緻密なものです。

まさに、ものづくりの原点であり、世界に誇る日本の技術といえます。(国選定保存技術、奥出雲町大呂)

たたらに関する出前講座を実施します。詳しくは和鋼博物館(電話23-2500)へ。



安来市加納美術館だより 電話36-0880

河井寛次郎展を開催中

陶工河井寛次郎さんが亡くなって50年が経ちましたが、安来の人々は、今もお尊敬の気持ちと親しみをもち続けています。

つくった作品など1000点以上が出品されています。幼い頃の思い出を胸に感動とともに生きた寛次郎さんの思いに触れてください。

安来市は、寛次郎さんのものづくりの喜びやふるさとへの思いを知っていただきたいと願って「今こそ永遠 河井寛次郎展 ―ふるさと安来への言伝―」を開催しています(会場は安来市加納美術館)。

期間中、様々な行事が市内各地で開かれています。詳しくは安来市教育委員会または加納美術館に問い合わせください。

《会期》12月4日(日)まで
火曜休館
《開館時間》9時から16時30分(入館は16時まで)
《入場料》一般1000円、高校・大学生500円、中学生以下無料。



河井寛次郎「三色碗」

名碗を愉しむ会(11月)
「もみじ茶会」

作品鑑賞の後、茶室「如水庵」にて呈茶。名碗を手にとりてご覧いただけます。▼日時:11月20日(日) 午前の部10時〜・午後の部13時〜
▼料金:2500円(入館料込) ▼申込期限:11月17日(木)



◀ 11月の名碗:
浜田庄司(人間国宝)
「柿釉赤絵茶碗」ほか

「励み場」

著者 青山文平
出版社 角川春樹事務所



江戸時代、一般農民より下位とされていた名子から真の武士を志す信郎と夫の役に立ちたいと願う妻。己の持てる力のすべてを注ぎ込む「励み場」を求め、懸命に生きる主人公が、仕事とは、人生とは何かを問いかけます。

「子どものうちに知っておきたい！おしゃれ障害」

著者 岡村理栄子
出版社 少年写真新聞社



小・中学生からカラーコンタクトなどおしゃれを楽しむ子が増えています。著者はこうしたおしゃれの危険を説明し、警鐘を鳴らします。体を痛めないようおしゃれを楽しむにはどうすればいいか、皮膚科医の視点で解説しています。

「あの夏、兵士だった私～96歳、戦争体験者からの警鐘～」

著者 金子兜太
出版社 清流出版社



若者を二度と戦場に送るな！と声高に叫ぶ、反骨の俳人がたどった戦中、戦後の思いとは。“今、とても、きな臭い世の中になってきた”と警鐘を鳴らす声に耳を傾けてみませんか。



新刊図書紹介

図書館司書が選んだ注目の新刊を紹介いたします。

「百年後、ぼくらはここにいないけど」

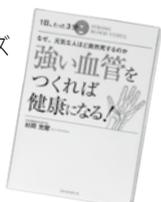
著者 長江優子
出版社 講談社



主人公の健吾は「一番ラク」という中学の地理歴史部に所属。ところが、百年前の渋谷の風景をジオラマで作ることになった上、新部長になってしまい…町の変化と自分のトラウマを見つめ直す、文化部系青春小説。

「強い血管をつくれば健康になる！」

著者 松岡充爾
出版社 ベストセラーズ



どうすれば突然死を回避できるのか。救急医療の現場に約20年携わっている現役の循環器の専門医が、突然死のリスクと回避するための日常生活における予防習慣を紹介しています。

「知識ゼロからのフルマラソン入門」

著者 小出義雄
出版社 幻冬舎



「スポーツは苦手、フルマラソンなんて…」という人必見。高橋尚子さんを育てた名伯楽・小出監督が、あなたのタイプに合わせたメニューで、フルマラソンを丁寧にコーチします。

臨時休館

安来市立図書館

蔵書点検となかうみマラソンのため臨時休館します。
期間 11月1日(火)～6日(日)

■問い合わせ

安来市立図書館…TEL 22-2574
ひろせ図書室…TEL 32-4455
はくた図書室…TEL 37-0050

その他 新刊図書

I love letter あさのあつこ
明日の食卓 柳月美智子
洗い屋 井川香四郎
世界遺産ガイド日本編2017改訂版 古田陽久
世界初の宇宙ヨット「イカロス」 山下美樹
老いの可能性 野村克也

大相撲の道具ばなし 坂本俊夫
掟上今日子の家計簿 西尾維新
お茶をどうぞ 向田邦子
カエルの楽園 百田尚樹
くろくんとなぞのおばけ なかやみわ
しげちゃんとじりつさん 室井 滋
小松姫 金井竹徳

その他の新着図書情報は

安来 図書館情報 検索

2日間でエコテープで作る編みバッグを完成させます。参加希望者は図書館までお問い合わせください。
時間 14時～16時
定員 15人
参加料 1000円程度
(材料費)

第3回 11月17日(木)・22日(火)
エコテープでバッグ作り
2日間コース

まなべ～る講座
場所 安来市立図書館
参加してね！

本で紹介のコミュニケーションゲームです。発表者を募集しています。本の紹介を聞いて一番読みたいと思った本を投票します。観戦のみも可。
時間 13時～15時30分
発表者定員 12人(先着順)

第2回 10月28日(金)
大人のビブリオバトル





行政

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます

国民年金保険料は、納付した全額（平成28年1月1日～12月31日に納付したものの）が、所得税や市県民税の社会保険料控除の対象となります。年末調整や確定申告の際には、この証明書または領収証書の添付が必要ですので、大切に保管してください。

送付時期 ▽平成28年1月1日～9月30日に納付した人：11月上旬（10月分以降は納付見込額が表記されま

11月 は児童虐待防止推進月間です 虐待かな？と思ったら迷わず相談を！

児童虐待とは、子どもの心と体を傷つける行為で、次の4種類に分類されます。

<p>身体的虐待…なぐる、ける、戸外に締め出す、タバコの火を押し付けるなど</p>	<p>性的虐待…性的行為・ポルノグラフィ被写体の強要など</p>
<p>心理的虐待…脅迫や無視、きょうだい間の差別的扱いなど</p>	<p>ネグレクト…不潔なままにする、医療受診を怠る、家や車の中に放置するなど</p>

全国的に増え続ける相談件数

児童虐待に関する相談対応件数は、依然として増加しており、子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶ちません。

予防・早期発見にご協力ください

子どもにとって有害ならそれは「虐待」です。虐待を疑ったり、発見したりしたときに通告（相談）することは、私たちに課せられた義務です。

虐待かどうかの調査は相談機関が行います。相談者の情報は決して漏らしませんので、虐待が疑われる子どもを見かけたときは、お知らせください。

問 子ども未来課 Tel.23-3209

す） ▽10月1日～12月31日に今年初めて納付した人：平成29年2月上旬

その他 家族の保険料を納付した人は、その納付額を社会保険料控除に加えて申告することができます。

問 控除証明書専用ダイヤル（設置期間は11月1日～平成29年3月15日）
Tel.0570-0003-0004

※IP電話などからは
Tel.03-6630-2525

・松江年金事務所

Tel.0852-23-9540
・保険年金課 Tel.23-3086

平成29年安来市成人式の開催と案内状送付

日時 平成29年1月3日（火）12時開会（受付11時～）

場所 安来市民体育館

対象 平成28年4月2日～平成29年4月1日に生まれた人

その他 ▽該当者には案内状をお送りしています ▽就学・就業などで市外に在

住している人で、参加を希望される人は、地域振興課までご連絡ください。

問 地域振興課 Tel.23-3070

都市計画（用途地域）の変更案の説明会について

松江圏（安来市を含む）都市計画区域区分（島根県



決定）の変更に伴い、用途地域の変更案の原案の説明会を開催します。変更する原案について、市民や関係者に対して説明をし、意見を聴取するものです。

変更する区域・用途地域 安来町の一部（加茂）：第一種住居地域

●説明会

日時 11月10日（木）19時～

場所 安来中央会

問 都市政策課
Tel.23-3320

庁舎
地域センター

交流センター
伯太保健センター

安来市健康福祉センター
(広瀬保健センター)

申し込み先
問い合わせ

平成28年分年末調整説明会
年末調整のしかたや、法定調書の提出方法などについて説明会を開催します。
日時・対象 11月16日(水)
▽安来地域の法人(10時30分～12時) ▽広瀬・伯太地域の法人、市内の個人(13時30分～15時)
場所 安来市学習訓練センター

松江税務署
Tel 0852-217711

Web-TAX-TV
「暮らしを支える
税を学ぼう」



11月11日～17日は「税を考
える週間」です
期間中は、「暮らしを支える税」をテーマに国税庁ホームページでさまざまな情報を提供します。ホームページをご覧ください。
国税庁ホームページのインターネット番組「Web-TAX-TV」では、国税庁の取り組みを紹介する番組を配信しています。ぜひご覧ください。

松江税務署
Tel 0852-217711

看護職の経験を高齢者施設に活かしてみませんか？福祉分野チャレンジ交流会

施設で働く看護職が現場の様子をお話しします。
日時 11月16日(水)14時～15時30分

場所 島根県看護協会看護研修センター別館(松江市)
内容 ▽高齢者施設や看護職の仕事について紹介 ▽お茶とお菓子で意見交換・質問タイム。

申込方法 氏名、住所、年齢、性別、電話番号を記入の上、ファクスやメールアドレスで11月9日(水)までに申込みください。

その他 ▽定員150人(先着順) ▽入場無料

申請 島根県ナースセンター
Tel 0852-278510
Fax 0852-253157
メール shimakk@carrot.ocn.ne.jp



災害に備え訓練を行います

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。



① 緊急速報メール配信訓練(11月19日(土))

～原発30*₀圏内の人へ一斉送信～

市や県では、原子力防災に関する訓練を予定しています。訓練当日、対象となる地域(安来市、松江市、出雲市、雲南市、米子市、境港市)に滞在している人の携帯電話に向けて、訓練用のメールを配信します。



訓練日時 11月19日(土)8時頃

- ※一部対象地域に隣接している市町村でも受信することがあります。
- ※マナーモードに設定していても着信音が鳴る場合があります。
- ※契約している携帯会社に関係なくすべての携帯電話に配信されます。

緊急速報メール(エリアメール)とは

携帯電話各社が提供するサービスで、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、特別警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアに一斉にお知らせします。

② Jアラート試験放送(11月29日(火))

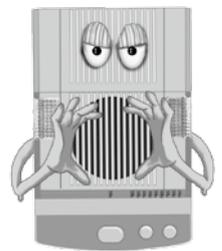
～試験放送が流れます～

緊急情報をお知らせするJアラート(全国瞬時警報システム)の動作確認のため、全国一斉に情報伝達訓練を実施します。当日は告知端末から試験放送が流れます。

試験放送日時

11月29日(火)11時頃

- ※各自で設定している音量で流れます。
- ※災害発生・気象状況などで中止することがあります。



Jアラート(全国瞬時警報システム)とは

大地震や弾道ミサイルによる武力攻撃などの事態が発生した際に、国の緊急情報を瞬時に住民に伝達するシステム。安来市では、行政告知端末から自動放送によりお知らせします。

危機管理課 Tel 23-3074

安来市の共通封筒・公用車への広告募集

市が使用する共通封筒および公用車に広告を掲載する事業者を募集します。

対象 市内に事業所などを有する民間事業者
※広告代理店も可。

募集期間 10月20日(休)～11月18日(金) (必着)

応募方法 申込書などに必要事項を記入の上、管財課まで提出してください。(郵送可)

※1枠(公用車は1台)から受け付けます。

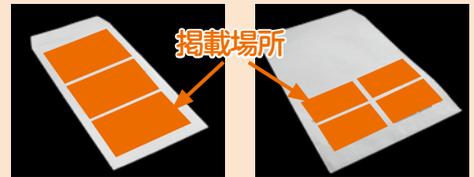
決定方法 市が定める要綱などに基づき決定します。

※応募数が募集枠を超える場合は抽選

広告概要 次の①②のとおり ※詳細はホームページをご覧ください

①共通封筒 申問管財課 Tel 23-3030

封筒の種類	長3	角2
規格	縦12×横23.5cm	縦24×横33.2cm
作成枚数	10万枚	6万枚
広告の位置	封筒の裏面	
広告の枠数	3枠分	8枠分
1枠当たりの 広告枠・掲載料	縦5.5×横10cm 8万円	縦5.5×横10cm 3万6000円



②公用車 申問管財課(車両) Tel 23-3033

車の種類	乗用タイプ	箱バンタイプ
台数	5台	3台
掲載位置	前左右ドア 両側面	左右スライド ドア両側面
広告枠	各面縦40× 横70cm以内	各面縦50× 横70cm以内
1台当たりの 掲載料	1万7280円	2万1600円
掲載方法	特殊フィルムによる張り付け (広告主が用意)	
掲載期間	1年間	



電波利用のルールを守りましょう

電波は警察、消防・救急放送、携帯電話など私たちの生活の安全・安心のために使われています。不法電波は、このような大切な通信を妨害して私たちの生活を脅かします。

電波を利用するためには、原則、無線局の免許と技術基準に適合した無線機器を使用することが必要です。不法無線局を開設した場合

や不法電波で重要な無線通信を妨害した場合は、懲役や罰金の対象となります。

守ろう電波3つのルール

①無線機器の利用には「技適マーク」の確認を
してください。



②電波の利用には、原則、免許が必要です。

③外国規格の無線機器は、国内では使用できません。

問 総務省中国総合通信局
Tel 082-222-3332

境界をめぐるトラブルを解決「筆界特定制度」

土地の境界トラブルでお困りではありませんか? 法務局が行っている「筆界特定制度」を活用すれば、裁判をしなくても境界トラブルを安価で解決できます。

詳しくは、法務局ホームページへ「法務局 筆界」で検索。または、直接お問い合わせください。

問 松江地方法務局地図整備
・筆界特定室

Tel 0852-32-4222

シニア世代対象

シマネスクくにびき学園
東部校オープンキャンパス

参加者募集

幅広い学習活動と仲間づくりを通して、シニア世代の生きがいづくりを応援する「シマネスクくにびき学園」では、オープンキャンパスを実施します。

開催日時 ①11月1日(火)・
②11月22日(火)・③12月16日

(金)・④平成29年1月20日(金)
いずれも10時～12時まで
(受付9時45分～)

場所 いきいきプラザ島根
(松江市東津田町)

その他 ▼事前申込みが必要
▼他の授業日の見学も随時受け付けています
ので、県社会福祉協議会までお問い合わせください。

申問 島根県社会福祉協議会
Tel 0852-32-5981

点字広報を図書館に
設置しています

市内道路上で落石多発

市内において落石が多発しています。8月には落石による通行車両への事故が発生しました。特に斜面がある山道や落石注意の看板が設置された場所では、スピードを抑制し前方に注意しましょう。



落石注意の看板を見たら

落石注意の意味は、「石や岩が車道に落ちている可能性があるため、気をつけて運転しましょう」ということです。斜面ではなく、路面を確認する必要があるという注意喚起の表示です。カーブで死角になった部分などは特に注意しましょう。



落石情報をご提供ください

道路で落石を発見したら、道路の管理者へご連絡ください。市内には、国・県・市が管理する道路がありますが、道路の管理者が分からない場合は、「道と川の相談ダイヤル」へご連絡ください。

●道と川の相談ダイヤル Tel 32-4149 (広瀬土木事業所) ※道路や河川に関する情報も受け付けます。

市道の場合、●土木建設課 Tel 23-3321

(休日は宿直Tel 23-3003) へご連絡ください。

土木建設課
Tel 23-3321

▶西比田地内で7月に起こった落石



就職フェアしまね(秋期)

企業の採用担当者による情報提供、希望者への面接会です。

日時 10月29日(土)10時30分～16時

場所 くにびぎメッセ(松江市学園南)

対象者 平成29年3月大学(院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校など卒業予定者、卒業後3年以内の未就職者、県内就職を

保健

希望する人。

その他 参加企業はジヨブカフェしまねのホームページに順次掲載。

申請ジヨブカフェしまね
Tel 0852-280694

乳幼児健診

※時間は受付時間です。

●4か月児健診

日時・場所 11月10日(木)13時～13時45分、(健)

対象 平成28年6月生まれのお子さん。

持ち物 母子健康手帳、アソケット。

●9か月児健診

日時・場所 11月1日(火)13時～13時45分、(健)

対象 平成28年1月生まれのお子さん。

持ち物 母子健康手帳、アソケット。

日時・場所 11月17日(木)9時～9時45分、(健)

対象 平成27年4月生まれのお子さん。

持ち物 母子健康手帳、アソケット、子ども用歯ブラシ。

●3歳児健診

日時・場所 11月17日(木)13時～13時45分、(健)

対象 平成25年8月生まれのお子さん。

持ち物 母子健康手帳、アソケット。

ソケット、子ども用・仕上げ用歯ブラシ、当日朝の尿。

問 子ども未来課

Tel 23-3222

BCG予防接種

日時・場所 11月30日(水)15時～13時45分(受付時間)、(健)

対象 平成28年5月生まれのお子さん。

持ち物 母子健康手帳、予防接種予診票。

問 子ども未来課

Tel 23-3222

マタニティ教室(要申込)

日時・場所 11月6日(日)9時30分～11時30分、(健)

対象 妊娠6カ月以降の妊婦とその夫。

内容 助産師のお話、子育て支援センターの情報提供など

申込期限 11月4日(金)

持ち物 母子健康手帳、タオル1枚。

その他 動きやすい服装でお越しください。

問 子ども未来課

Tel 23-3222

定期予防接種を受けましょう

定期予防接種は、法律に基づいて、市区町村が主体となって実施する予防接種です。対象となる人はなるべく受けましょう。

お子さん対象 子ども未来課 TEL 23-3222

麻しん (はしか)

全国的に麻しんの流行が心配されています。麻しんは感染力が非常に強く、時に肺炎や脳炎などの深刻な合併症を起こすことがあります。かからないため、または、周囲の人にうつさないために予防接種が有効です。まだ接種していない人は、早めに接種しましょう。

特に基礎免疫ができていない1期対象のお子さんは、1歳の誕生日がきたらできるだけ早く予防

接種をしましょう。※ワクチンは麻しん風しん混合となり、接種期間内は無料です。

	対象者	接種期間
1期	生後1歳以上2歳未満のお子さん	1歳から2歳のお誕生日の前日まで接種ができます
2期	平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれのお子さん	4月1日から平成29年3月31日まで

高齢者対象 いきいき健康課 TEL 23-3220

肺炎球菌感染症

肺炎は、日本人の死因の第3位で、死亡者の95%以上は65歳以上の人です。日本でかかる肺炎の原因菌として

最も多いのは、肺炎球菌です。ぜひ、予防接種を受けましょう。助成は一生に一度です。

対象者 次の①②のいずれかに該当する人

①平成28年度(4月1日～平成29年3月31日)に次の年齢となる人…65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳

②接種当日、60歳以上65歳未満の人で、心臓、じん臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に極度の障がいがある人

接種期間 平成29年3月31日まで

持ち物 予診票(個人通知に同封)、健康保険証

自己負担額 3,000円(医療機関の窓口で支払い)

高齢者 季節性インフルエンザ

高齢者がインフルエンザにかかると、気管支炎や肺炎を合併して発症し重症化しやすくなります。

対象者 ①接種日当日に65歳以上の人
②接種当日、60歳以上65歳未満の人で、心臓、じん臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に極度の障がいがある人

接種期間・回数

11月1日～平成29年1月31日の間に1回。

自己負担額 1,500円(医療機関の窓口で支払い)

●肺炎球菌とインフルエンザの自己負担額の免除

生活保護世帯や市民税非課税世帯の人は、自己負担金が事前申請によって無料になります。詳しくはいきいき健康課まで。(申請受付11月1日～)

接種できる医療機関 上記予防接種は、直接、医療機関に予約して接種してください。医療機関によって受けられる予防接種が異なりますので、確認して受けましょう。

【麻しん・肺炎球菌・インフルエンザ】…安来第一病院、家族・絆の吉岡医院、渡部医院、野坂医院、吉田医院、森脇医院、麦谷内科クリニック、金藤内科小児科医院、杉原医院、杉原医院大塚分院、杉原クリニック、朝山医院、河村医院、安来市立病院、村上医院、常松医院井尻分院、常松医院赤屋分院

【インフルエンザ・肺炎球菌】…日立記念病院、白根医院、安来市医師会病院、村上医院安田出張所、加藤医院、千原医院

【インフルエンザのみ】…おがわ耳鼻咽喉科、やました整形外科

不妊に悩むご夫婦へ

特定不妊治療費の助成をします

●対象となる治療

島根県特定不妊治療費助成事業に基づく、体外受精および顕微授精に要した費用が該当します。

●対象者…①②の両方に該当する人

- ①戸籍上の夫婦関係にあり、夫婦のいずれかが安来市に住所を有していること。
- ②島根県特定不妊治療費助成を受けていること。

●助成申請方法

島根県の特定不妊治療費助成決定通知日の年度内に、市へ助成申請書を提出してください。

●助成金額

自己負担額から島根県助成額を差し引いた額に対して、初回は10万円、2回目以降は5万円を上限として助成します。

申問 子ども未来課

Tel 23-3222



作り方の悩みや育児相談も
離乳食教室(要申込)
日時・対象 11月22日(火)
▽5〜6カ月児9時45分〜
10時 ▽7〜8カ月児13時
30分〜13時45分(受付時間)
場所(健)
申込期限 11月18日(金)
持ち物 母子健康手帳、冊
子「離乳食教室の進め方」
(4か月健診時に配布)、参
加費1000円、おてふぎ。
申問 子ども未来課
Tel 23-3222

子育て支援センター「お母
さんのためのヨガ講座(要
申込)
育児で疲れているお母さ
ん。ヨガで気分をリフレッ
シユしませんか。子育てや
家事、仕事など日々の慌し
さから開放される貴重な時
間を過ごしましょう。
日時・場所 11月15日(火)10
時30分〜12時、(健)
その他 託児あり(要申込)
申問 子ども未来課
Tel 23-3222

健康についての悩みを解消
栄養相談(無料・要予約)
食生活や健診結果などに
ついて、管理栄養士が専門
的なアドバイスを行います。
市民であれば、無料で
利用できますのでお気軽に
予約ください。
日時・場所 ▽11月8日(火)
9時30分〜16時、安来中央
(交) ▽11月22日(火)9時〜12
時、(健)
申問 いきいき健康課
Tel 23-3220

講座・教室

安来市学習訓練センター主
催の教室など
※場所はいずれも同センター
●パソコンなんでも相談日
ちよっと聞きたい小さな
疑問の解決方法教えます。
操作全般の質問も対応可。
日時 11月7日(月)・14日(月)、
10時〜12時
受講料 5000円。

早期発見早期治療が大切で
す!がん検診
日時・場所 ▽11月14日(月)
8時30分〜10時30分:島田
(交) ▽11月15日(火)・16日(水)
8時30分〜11時:荒島(交)
▽11月17日(木)8時30分〜11
時:飯梨(交) ▽11月19日(土)
乳がん9時〜(子宮がん9
時30分〜)11時30分・13時
〜15時:安来市役所 ▽11
月29日(火)(子宮がんのみ)
9時〜9時45分:飯梨(交)、
10時30分〜11時30分:荒島
(交)、13時〜13時45分:島田
(交)、14時30分〜15時15分:
能義(交)
問いきいき健康課
Tel 23-3220

その他 ▽パソコン持込可
▽申込不要。
●パソコン個人指導
分らないことがマン
ツーマンで集中的に学べ、
自分のペースで進めること
ができます。(1回2時間)
受講料 3000円。
その他 ▽受講日時は事前
にご相談ください ▽パソ
コン、デジカメなど持込可。
●パソコン教室
①パソコン初心者午前コース
日時 11月18日(金)・21日(月)・
22日(火)・24日(木)9時30分〜
12時30分
受講料 5000円(テキスト
別途1000円)。
その他 ▽定員15人 ▽要
申込 ▽パソコンの持込不
要。
②パソコングループ講習
職場や趣味の仲間等と楽
しく学びませんか。
内容 ワード・エクセルな
どの12時間コース。
受講料 一人5000円(テ
キスト代別途)。
その他 日時、人数、講習
内容は要相談。
申問 安来市学習訓練センター
Tel 23-1750



よろい 鎧かぶと手づくり教室 参加者募集

戦国時代の鎧かぶとをあなたの手で作ってみませんか。親子での参加もできます。

開催日 平成29年5月15日(月)～11月30日(木)の間、14回
会場 広瀬町民会館などを予定。(参加者の人数などにより選定します)
内容 ボール紙を素材に鎧かぶとを作成。
経費 ○鎧かぶと
 ・鎧かぶとキットの購入…13,000円
 ・ボール紙から自作した場合…2,000円 ※自作は大人用4組限定です。
 ○そのほか装飾品(購入すると2万円程度) ※ひも、塗料など作品に応じて発生します。
募集期間 10月20日(木)～平成29年2月28日(火)

☎出雲尼子を興す会事務局 (広瀬地域センター内)
 TEL23-3201

求職者を対象とした職業訓練生を募集します(無料)
 求職者を対象に、地域企業の人材ニーズに即した職業訓練を行っています。就職に必要な実践的技能・知識を学ぶことができます。
①シニア向けの研修
●1月の募集内容
 コース ▼CADオペレーター
 ショーン科 ▼金属加工科
 ▼住宅リフォーム技術科
訓練期間 平成29年1月5日(木)～6月28日(水)

募集期間 11月1日(火)～12月5日(月)
場所 ポリテクセンター島根
②介護福祉士実務者研修科
 リラクゼーション技術を学べる介護福祉士の受講生を募集しています。
訓練期間 平成29年1月6日(金)～8月4日(金)
募集期間 10月25日(火)～12月7日(水)
場所 グローバル松江第二校(松江市大庭町)

受講料 無料(テキスト代1万4800円必要)
☎問 ポリテクセンター島根
 TEL0852-312309
シニアのための技能講習「パソコン操作基礎講習工クセル」(受講無料)
 講習終了後も求人情報の提供などフォローアップします。
日時・場所 11月29日(火)～12月2日(金)、6日(火)10時～16時(5日間)、安来市学習

訓練センター
対象 60歳以上で安来市・松江市にお住いの人
申込期限 11月15日(火)
募集定員 15人。
☎問 島根県シルバー人材センター連合会
 TEL0120-78-1142
公開講演会「犯罪被害者と隣人」
 平成16年に世間を震撼させた「佐世保小六女児同級生殺害事件」が発生し、12年が経ちました。
 当時、毎日新聞佐世保支局の記者として勤務し、被害女性の父親の部下でもあった川名氏をお招きし、思いを語っていただきます。
日時 11月5日(土)14時～16時(受付13時30分～)
場所 島根県民会館
講師 川名壮志氏(毎日新聞記者)
その他 ▼定員150人(先着順) ▼入場無料
☎問 公益社団法人島根被害者サポートセンター
 TEL0852-32-5928

子育て講演会
 「パパの子育てが世界を救う!」
 大ヒット中の書籍「男の子の本当に響く叱り方・ほめ方」の著者小崎恭弘氏の講演会。子育て中のお父さん、お母さんの参加をお待ちしています。



日時 11月21日(月) 10時～12時
場所 十神小学校
講師 小崎恭弘氏
その他 ・申込みが必ずです。
 ・講演後、園児を対象に絵本の読み聞かせを上演されます。
☎問 人権施策推進課
 TEL23-3095

庁舎
地域センター

交流センター
伯太保健センター

安来市健康福祉センター
(広瀬保健センター)

申し込み先
問い合わせ

相談

ハラスメント対応特別窓口
を開設しています

島根県労働局では、厚生労働省の全国マタハラ未然防止対策キャラバンの一環としてハラスメント対応相談窓口を設置しました。

プライバシーを厳守し、匿名での相談も受け付けていますので、一人で悩まずにご相談ください。

開設日 12月28日(水)までの月曜日(祝日を除く)

時間 8時30分～17時15分

場所 島根労働局雇用環境均等室内(松江市向島町)

相談例 ▽妊娠・出産、育児休業・介護休業に関するハラスメント ▽男女雇用機会均等法・介護休業法で禁止されている妊娠・出産、育児休業・介護休業に関する不利益の取扱いなど

申請 島根県労働局
TEL 0852-311161

心の健康相談(無料・要申込)

心の病気や悩み、アルコール問題、もの忘れなど

に関する相談に応じます。

●安来会場

日時・場所 11月17日(水) 13時30分～15時30分、安来中央

※11月15日(火)までに要予約

●松江会場

日時・場所 11月7日(月)・10日(水)・16日(水) 13時30分～15時30分、松江保健所

※前日までに要予約

申請 松江保健所

TEL 0852-231316
福祉課 TEL 23-3216

司法書士による「高齢者・障がい者のための成年後見相談会」

成年後見制度は、認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、判断能力が不十分な人々が財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないよう、法律面や生活面で保護支援する身近な仕組みです。本人、親族、養護者の不安や相談に応えます。

日時 11月19日(土) 13時～17時

場所 島根県司法書士会館

その他 予約が必要です。

(平日12時30分～15時30分)

申請 司法書士総合相談センター

TEL 0120-114234

司法書士無料法律相談

相続、遺言、不動産売買、名義変更登記、お金の貸し借り、借金、悪質商法、会社登記、裁判、成年後見等高齢者の財産管理などご相談ください。

日時・場所 11月19日(土) 13時～17時、島根県司法書士会館(松江市南田町)

その他 予約優先(予約は平日12時30分～15時30分)

申請 司法書士総合相談センター

TEL 0120-114234

各種定期相談は市民カレンダーでご確認ください

相談時間・お問い合わせ先は、次のとおりです。

生活相談
▽9時～16時 ▽社会福祉協議会 TEL 23-1855

消費者問題弁護士相談
▽9時～12時、市民相談室

行政相談所
TEL 23-3068

▽安来・広瀬・伯太会場：9時～12時 ▽市民相談室

TEL 23-3068

特設人権相談所

▽9時30分～12時 ▽人権施策推進課 TEL 23-3095

しまね東部若者サポートステーション事業出張相談会(要予約)

▽13時～16時 ▽サポステ 松江 TEL 0852-33771

縁結び相談「はびご交流サロン」

▽16時30分～17時30分 ▽定住企画課 TEL 23-3059

イベント

スポレク広場

さまざまなニユースポーツが体験できます。みんなで楽しく体を動かしましょう。

日時 11月13日(日) 10時～(受付9時30分)

場所 飯梨小学校体育館

内容 カラーリング、ピントだーターゲット、ビンポウリング、ユニバーサルホッケーなどのニユースポーツ体験

問 飯梨 TEL 28-8346

第12回安来市農林業祭

テーマ「発見!体感!やすぎの農林業」



市内で収穫した農林畜産物や加工品を販売するほか、どじょう汁などの無料サービス、丸太切り競争などの各種体験コーナー、お楽しみ大抽選会など、お楽しみ企画が満載です。

日時 11月20日(日) 9時～15時

場所 伯太

問 農林振興課 TEL 23-3333

やってみようお仕事体験！
やさぎエンジョイチャレン
ジ2016

子どもたちが安来のさまざまな職業を疑似体験できるイベントです。

日時 11月12日(土)～13日(日)
10時～16時

場所 安来市社会福祉協議会広瀬支所周辺

内容 ▼職業体験 ▼特殊車両展示 ▼歌つまキッズコンテスト ▼きつぷりマ

対象 ▼職業体験・歌つまきつぷりコンテスト：小・中学生 ▼きつぷりマ：小学3～6年生

その他 歌つまキッズコンテスト出場、きつぷりマ出店には、事前申込みが必ずです。

申問 安来市商工会議所
TEL 22・2380

第6回 安来・清水寺古道ウォーク

参詣の古道を歩き、紅葉深まる清水寺を散策。心地よい汗を流しませんか。

日時 11月19日(土)9時40分
スタート(開会式9時)



co.jp

Fax 0859-34-8817
メール s-jigy@mn.
メール s-jigy@mn.
co.jp

申問 日本海新聞西部本社

協会、新日本海新聞社
安来市観光協会、清水観光協会、新日本海新聞社

主催 安来・清水寺古道ウォーク実行委員会(安来市・安来市観光協会、清水観光協会、新日本海新聞社)

参加料 一般：700円、中高生・団体：500円、夫婦：1100円、小学生以下：無料。(傷害保険料込み)※参加料は当日払い。

申込方法 参加者全員住所・氏名・年齢・電話番号を電話・FAX・メールでお知らせください。

申込締切 11月15日(火)

定員 700人(先着順)
その他 参加賞進呈。道の駅でソバの振る舞いや、抽選会などもあり。

同時開催

「安来市ブルーライトアップイベント2016」
「食と歯のフェスティバルinやすぎ」

日時 11月19日(土)14時～
場所 安来中央

安来市ブルーライトアップ
イベント2016

11月14日は世界糖尿病デー。糖尿病について考えていただくためのイベントを開催します。

また、糖尿病の予防と治療の啓発のため、世界各



19日18時～21時
※山内は立入不可

地で史跡や建物などがブルーにライトアップされます。安来では19日清水寺の三重塔がブルーにライトアップされます。

内容 ▼健康相談・簡易血糖測定・血圧測定など(14時～16時30分)

▼日立管弦楽団による演奏、赤江保育所・安来市立病院こぶしの会会員による踊り(16時30分～) ▼限定300食! 「安ら来食堂」弁当の販売(17時30分～18時)

また、糖尿病の予防と治療の啓発のため、世界各

●食育講演会(15時～16時)

講演 「タニタの健康セミナー～タニタ食堂に学ぶ500Kcalまんぷく定食のコツ～」



『タニタ食堂』で有名な健康総合企業のタニタより、管理栄養士をお招きし、健康づくりのヒントや、話題となっているタニタ食堂で提供している献立作りのコツや実践のテクニックをお伝えします。

また、外食やコンビニエンスストアの活用術についてもお話します。(先着100名・要申込み)

申問 いきいき健康課 TEL 23-3220

食と歯のフェスティバル
inやすぎ

テーマは「幼児期から始まる生活習慣病予防」です。生活習慣病予防や歯と口腔の健康づくりについて考えてみましょう。

内容 ▼8020表彰式(14時～15時)

▼安来市食生活改善推進協議会・学校給食による試食コーナー

▼健康と食育に関する市民意識調査の結果、乳幼児健診アンケート結果展示など

申問 いきいき健康課
TEL 23・3220

庁舎 地域センター

交流センター 伯太保健センター

安来市健康福祉センター (広瀬保健センター)

申し込み先 問い合わせ

安来市総合文化ホール「アルテピア」開館イベント 親子で楽しむコンサート

ともとのガラクタ音楽会



出演 山口とも

NHK教育テレビ「ドレミノテレビ」などで人気を博した“ともとも”が安来に登場。“ともとも”の手にかかるといつも捨てちゃうガラクタが素敵な楽器に大変身！身近なものを使って一緒に音を楽しみましょう！！

日時 平成28年11月30日(水) 10時30分～11時30分

場所 文化庁

その他 参加無料、要申込

主催 島根県、(公財)しまね文化振興財団 共催 安来市

補助 文化庁

申込 子ども未来課 Tel 23-3222

平成28年度地域ステージ事業

平成28年度文化庁「文化芸術による地域活性化・

国際発信推進事業」



「やさぎLOVE☆」を集めました
アーティスト集団・山陰効果団地が、昨年、松江歴史館で開催し、好評を博した新感覚ギャラリーイベント『まつえあつめ』が安来市バージョンとなり登場！
日時 11月3日(休)～12月3日(土)9時～17時(ただし水曜定休日)
場所 やすぎ懐古館一風亭

内容 ▼想像復元！月山富田城模型 ▼安来と松江をつなぐしつこいアート ▼段ボールS.L.アート ▼安来市内で撮影したモデル＆風景写真など
その他 ▼入場無料 ▼期間中、特別企画「音楽とアートのコラボレーションライブ」などを行います。
Tel 23・0007

第12回なかつみマラソン全国大会
山陰最大級のマラソンイベントなかつみマラソン全国大会を開催します。
当日はゲストトーク ショーや抽選会、中海圏域の特産品を販売するグルメ村など多彩なイベントが盛りだくさん。ぜひ、会場にお越しください。
日時 11月6日(日)9時40分

競技スタート
場所 和銅博物館前
内容 オーブニング(8時5分)、ゲストトーク ショー(8時25分)、開会式(8時50分)、ゲストとじゃんけん大会(12時25分)
●交通規制があります
当日はコースになる道路での車両通行ができません。ご迷惑をおかけします。が、ご協力をお願いします。
交通規制 11月6日(日)9時～12時40分

「どげなかね10月号」に誤りがありました。訂正箇所は次のとおりです。お詫びして訂正します。
訂正箇所
27ページ 秋の地区文化祭
：広瀬地区の開催期日
(誤) 期日12月25日(日)～26日(月)
(正) 期日 平成29年2月25日(土)～26日(日)
問 地域振興課
Tel 23・3070

その他

おわびと訂正
9月20日発行の広報紙

問 なかつみマラソン全国大会事務局 Tel 23・3500



2013年日本選手権3千メートル障害優勝 荒井悦加さん

元プロボクサータレント 内藤大助さん

SPコードの見直しについて

安来市では視覚障がい者や目の不自由な人に市からの情報をお届けするため、広報紙の下部に音声読み上げ用コード「SPコード」を印刷してきました。

この度、SPコードを見直し、広報紙での印刷をやめ、希望する人にSPコードを付記した印刷物を送付することにしました。

SPコードが必要な人は秘書課までご連絡ください。

問 秘書課 Tel 23・3010





▼恵乃島町で観光農園を営む佐伯さん



安来をミカン名産地に 佐伯勝美さん（島田地区）

知識も経験もなく始めたミカンづくり。本を読みあさり、生産地へ足しげく通い、栽培技術の習得に努めました。神経を使ったのは水分管理。ミカンは水分が多すぎると実が大きくなり味が落ちます。そのため、根を防水シートを敷いた上に埋め、表土はアメリカから取り寄せた特殊なシートで覆うなど、工夫を凝らしました。土壌にもこだわり、化学肥料を使わずに、ホタテ

人がつながる交流の場

21年4月ごろ。当時県職員だった佐伯さんは、定年を数年後に控え、第2の人生に果樹栽培を思いつきました。島田地区で盛んなナシやブドウでは、既存の農家には勝てないと考えていたところ、近隣の露地であったミカンをもらいました。「それがとてもおいしかったんです」と佐伯さん。温暖な気候で実るイメー

ジのミカン。調べてみると、農林水産省が勧める、年間平均気温が15度以上などの自然条件をすべて満たしており、取り組むことにしました。

丹精込めた樹は順調に生育し、退職した平成26年に観光農園をオープンさせました。

「若い娘さんがおばあさんの手を引いてきたり、農園に来る家族のうれしそうな顔を見たり、とにかく交流の場になっていくことがうれしいです」と現状に目を細めます。こだわって、完全で収穫する味の評判も上々。「とにかく甘くてジューシー」という自慢の味は、今年から高品質志向の百貨店での取引が始まります。次の目標は「安来をミカンの名産地にすること。技術を若い人たちに提供したい」と意気込んでいます。



山陰初の観光ミカン農園

たわわに実ったミカン。そばで親子の楽しそうな声が響いています。2年前に山陰初の観光ミカン園としてオープンした「やすぎ観光みかん園」。広さ16アールの敷地に4種類計170本のミカンが植えられ、秋になると大勢の観光客が訪れます。

農園主の佐伯勝美さんがミカン栽培を始めたのは、平成



◀看板ヤギ「めえくめ」がお出迎え。

●やすぎ観光みかん園

開園 10月上旬～11月中旬
TEL 090 - 4578 - 8901

編集後記

▼今月号の特集は農業を取り上げました。9月は相次ぐ台風や長雨で取材が思うように進まず、改めて自然相手の厳しさを実感しました。こんな中でも市内では新たな試みがなされています。「シン・農業」と言ってもいいかもしれません。新・真・神・・・一人の消費者として食を考えるキッカケになりました。特集の感想をお寄せください。(山)

▼新安来市誕生以来、ほぼ同一のデザインだった紙面を大幅にリニューアル。より親しみやすく、そして「おしゃれ」にしたつもりです。この欄は親しみやすさを感じていただくためのものです。読者との意見交換の場と考えています。今後も細かく刷新する予定ですが、男二人で担当していますので、おしゃれとは縁遠くなるかもしれません。(山)

安来市の人口と世帯数 H28.9.30現在

人口合計 / 40,018人
(男:19,150人 女:20,868人)
世帯数 / 14,243世帯

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、市民参画課(☎23-3067)までご連絡ください。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用